

# 輪ギクにおける実需者ニーズに基づく新規格効率生産体系の確立

実需者の利用形態に合った無駄のない規格(切り花長65cm、切り花重20g以上)による輪ギクの効率的生産技術の開発

## 研究開発の背景

- ・輪ギクの出荷規格は、ほとんどの産地で切り花長90cmとしている。
- ・実需者(量販店)からは、加工時に大量のゴミが出ず、使いやすい規格のキク(エコ맘)のニーズが高まっている。
- ・新興需用者の利用形態にあった品質や仕様のきく切り花をエコ맘(eco-mum: ecology + chrysanthemum)と称する。

## 研究成果の内容

### エコ맘栽培に適した品種の選定と栽植様式の解明

#### ・品種・系統の選定

伸長性、生育揃いが良く、無側枝性、低温開花性を有するなどを基準に、**エコ맘適応品種を選定**。



エコ맘適応品種:「なつき愛」

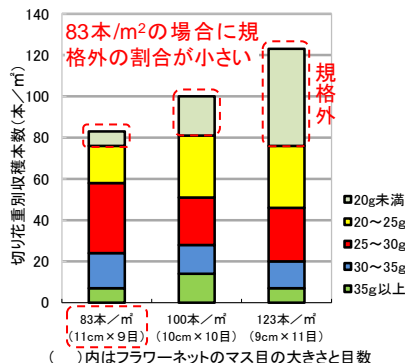
#### ・最適な栽植様式

植え付けと摘蕾の作業姿勢から、最適な栽培ベッド幅は100cm、通路幅は40cm。

栄養成長期は、夏季4週間、冬季5週間。  
栽植密度は83本/m<sup>2</sup>(実面積)が最も効果的。

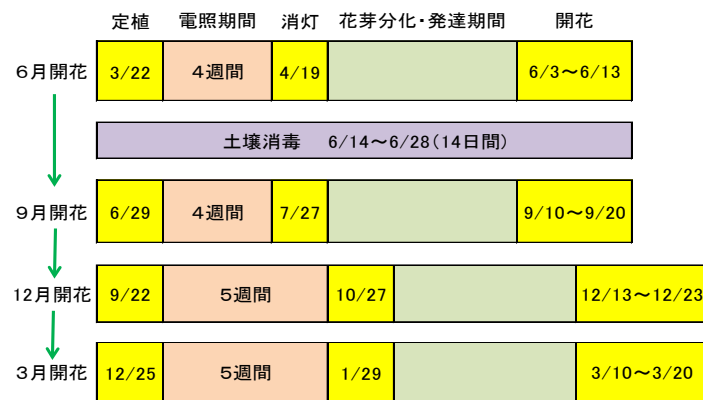
#### ・省エネルギー型栽培技術

花芽分化期の日変温管理を前夜半(17:00~0:30)は17℃、後夜半(0:30~8:00)は13℃とすることで、省エネルギー栽培が可能。



導入メリット

通常の生産に比べて年間1作多くなり、生産本数は1作あたり1.2倍、年間では1.6倍に増やすことができる。  
変温管理で10a当たりの重油消費量は約17%削減できる。  
→ 1本当たりの重油消費量は約31%削減



エコ맘の年間栽培スケジュール例

通常栽培: 40,000本/10a × 年3作 = 120,000本/10a/年  
エコ맘栽培: 48,000本/10a × 年4作 = 192,000本/10a/年

## 期待される効果

- ・キク栽培における生産性の向上を図ることができる。また、実需者のニーズに適した規格のキクの大量供給により、海外産のキクに奪われたシェアを取り戻すことができる。

導入をオススメする対象  
全国のキク生産者

開発機関: 株式会社なにわ花いちば、愛知県農業総合試験場東三河農業研究所、鹿児島県農業開発総合センター、茨城県農業総合センター園芸研究所、大分県農林水産研究指導センター、愛知県経済農業協同組合連合会、茨城県農業総合センター専門技術員指導室、大分県東部振興局【予算区分: 競争的資金】